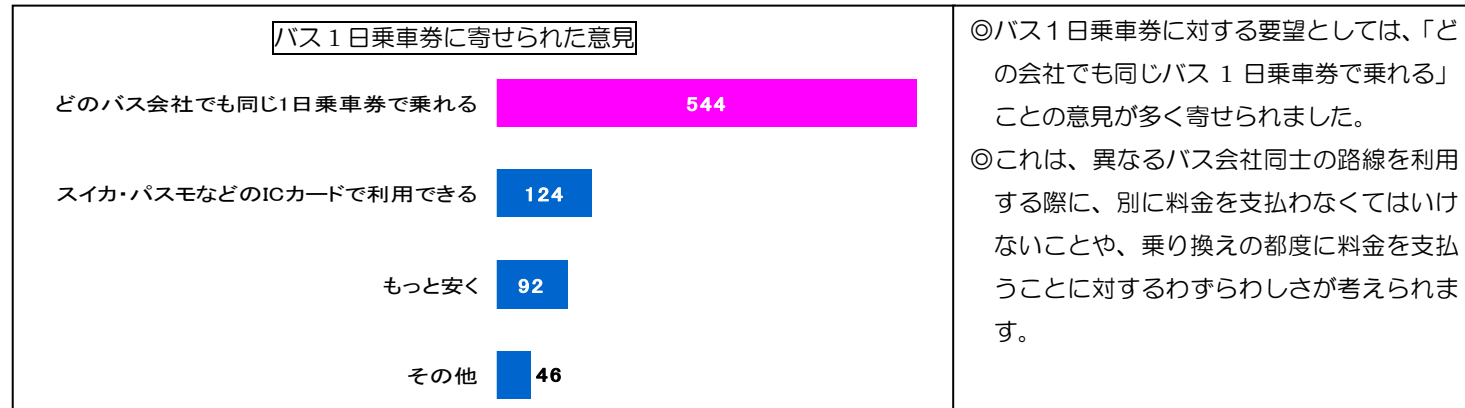


【調査の結果】

【バス1日乗車券に対する要望】

◆『青葉区、都筑区調査』 母数；667（複数回答）



【バス全般に関する主なご意見、ご要望】

◆『青葉区、都筑区調査』及び『すすき野地区調査』 母数；784

- ・東急バスと他のバス会社との共通バス1日乗車券があると便利
- ・バス1日乗車券をコンビニ等の身近な場所で販売
- ・わかりやすいバス路線案内図が配布されると便利
- ・本数の少ないバス路線では、利用したいバスがこれから到着するか、通過したかの情報がバス停で表示されると便利
- ・方面によって少ないバス路線の増便
- ・バスを乗り降りする際の段差の解消

◆『すすき野地区モニター調査』（モニターとしての参加を通じて多かったご意見、ご要望）母数；50

- ・異なるバス会社同士のバス路線を利用する場合の共通した運賃割引のサービス
- ・バスと電車を乗り継ぎ利用したら運賃割引になるサービス
- ・スイカやバスモでバス1日乗車券としての利用もできると便利
- ・わかりやすいバス路線図が手元にほしい
- ・バス路線図が大きすぎるので持ち歩きできるサイズにすると便利
- ・次に来るバスがどのあたりを運行しているかの情報提供がほしい
- ・時刻表どおりにバスを運行してほしい
- ・安全なバス停留所、快適なバス待合施設がほしい
- ・バス車内での乗客マナーの啓発活動をしてほしい

【調査結果の活用について】

- ◎ 本調査結果に基づき、今後バスが一層便利な交通手段となるよう、バス会社と話し合いを進めてまいります。
- ◎ また、皆様もバスをご利用されることで、二酸化炭素を減らすことができます（マイカーの平均的な二酸化炭素排出量は、一人あたりに換算してバスの3.4倍）。例えば、一日10分マイカー利用を控えていただくことで、二酸化炭素588kgの削減効果があります。
- ◎ 脱温暖化のため、横浜市では市民の皆様とともに二酸化炭素排出量削減を目指しており、バスを便利にするようバス会社とともに取り組んでまいりますので、皆様も是非、バスをご利用いただきますよう、よろしくお願いいたします。

なお、本調査に関するご質問等ございましたら、下記にご連絡下さい。

※連絡先：横浜市 都市整備局 企画課 TEL045-671-4128 e-mail：tb-koutsuu@city.yokohama.jp

東急バス1日乗車券を活用したバス乗り継ぎ利用調査の結果について

平成21年3月 【調査機関 横浜市（都市整備局、道路局）】

【調査の概要】

横浜市では、地球環境に優しく、地域の代表的な交通手段であるバス路線を将来にわたって維持していくため、多くの方に利用いただけるよう、バス利用のPR及びアンケートを通じたバスへのご要望を把握し、バスの利便性を高める取組みを行っています。

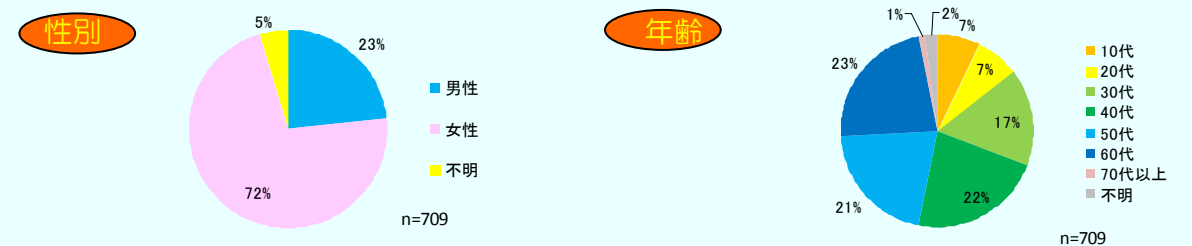
そこで、平成20年度は東急バスの協力を得て、東急バスの青葉区、都筑区エリアを対象に、バス1日乗車券を活用したバス乗り継ぎ利用調査を実施しました。調査の実施内容は以下の通りです。

【調査機関 横浜市（都市整備局、道路局）】、【協力機関 東急バス】

①青葉区、都筑区 バス1日乗車券利用者を対象とした調査（以下、『青葉区、都筑区調査』）

東急バスの沿線で東急バス1日乗車券のご案内、バス利便性に対する広報やバス車内で、バス乗り継ぎ利用に関するアンケート調査を実施。

調査期間：平成20年11月17日（月）から12月16日（火）まで
調査範囲：青葉区、都筑区の東急バス路線（青葉台、虹が丘、東山田営業所管内）
調査方法：東急バスの車内で、バス1日乗車券購入者にアンケートを配布
車内でのアンケート設置数 6,900枚 回答数 709通



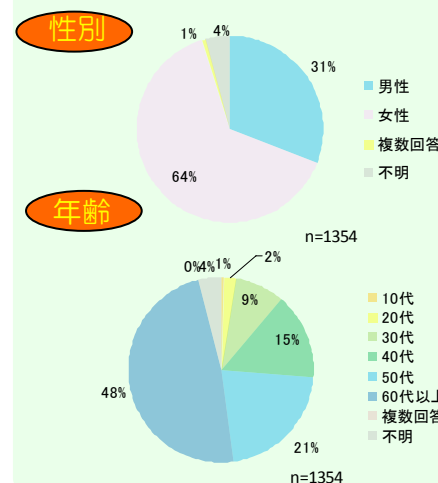
②青葉区すすき野地区の住民を対象とした調査

i) 全世帯を対象に、現状のバス利用に関するアンケート調査を実施（以下、『すすき野地区調査』）

調査期間：平成20年10月25日（土）から11月16日（日）まで
対象世帯数 4,515世帯（全世帯） 回答世帯数 1,354世帯（回収率 約30%）

ii) バス1日乗車券の利用体験によるアンケート調査（以下、『すすき野地区モニター調査』）

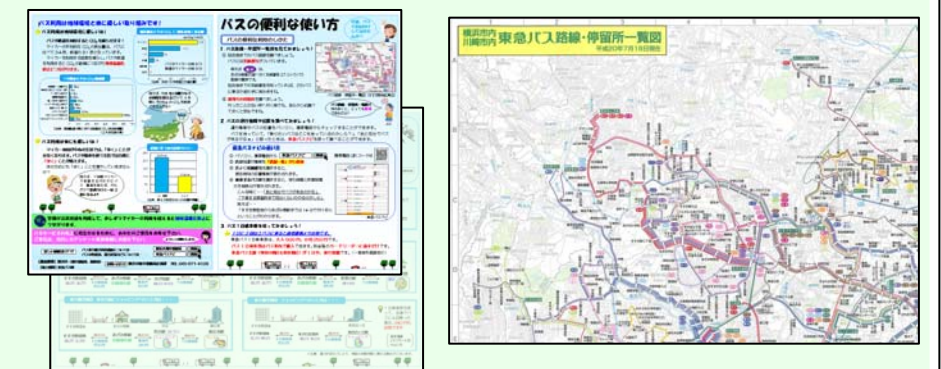
青葉区すすき野地区から調査モニターを募集し、バス1日乗車券をご利用の上でアンケート調査を実施
調査期間：平成20年12月1日（月）から12月16日（火）まで
モニター数 106名 回答数 77名（回収率 約70%）



すすき野地区モニター配布資料（情報提供、利用啓発）

★「バスの便利な使い方」

★「東急バス路線・停留所一覧」

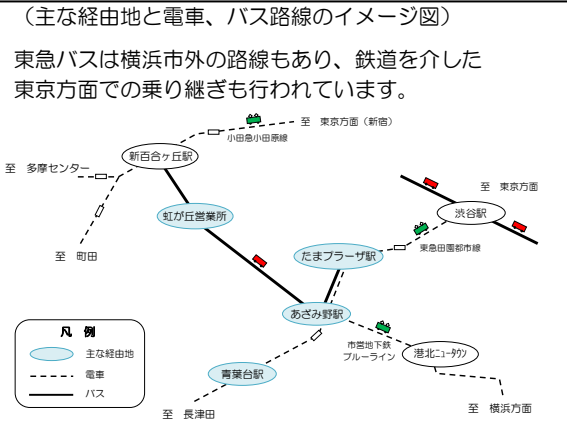
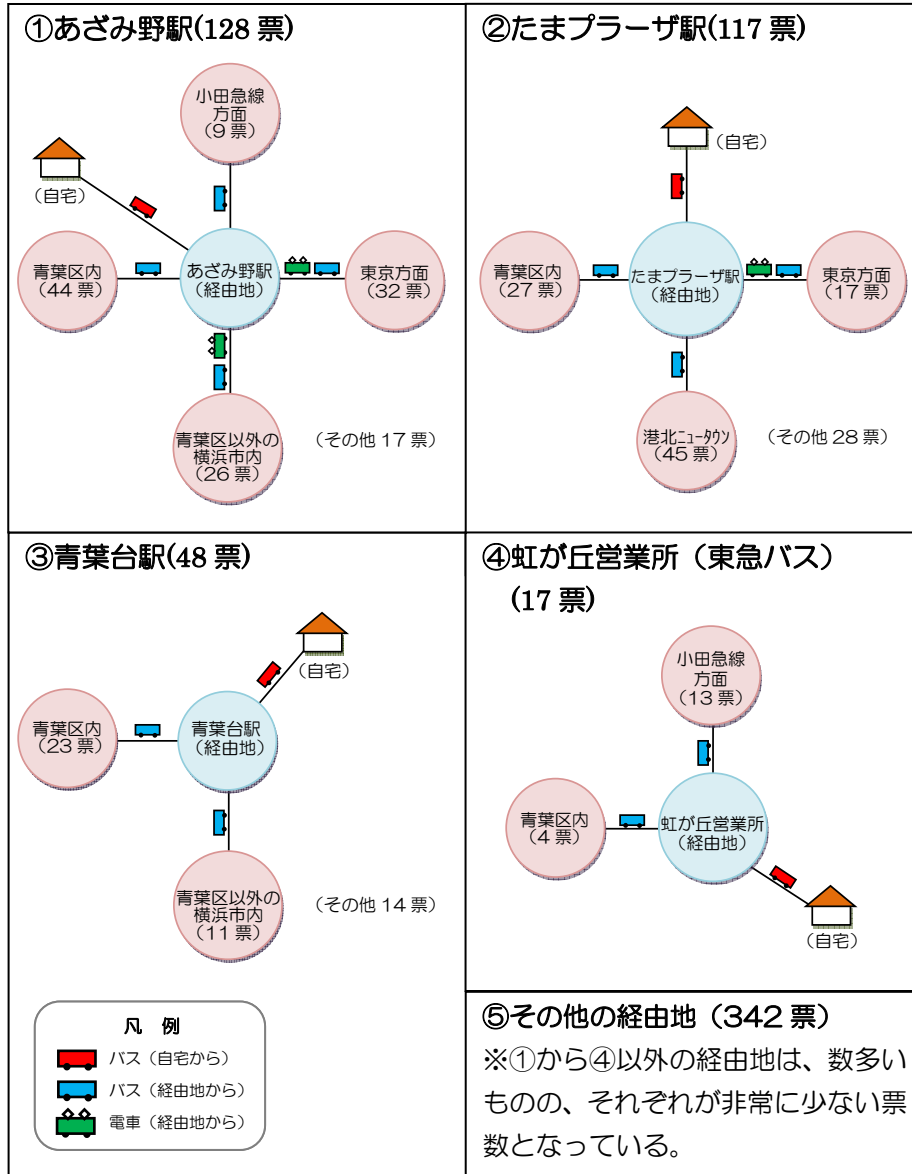


【調査の結果】

【バス1日乗車券の実際のご利用状況】

乗り継ぎの経由地ごとのご利用パターン（経由地は票数の多い順）

◆『青葉区、都筑区調査』及び『すすき野地区調査』 母数：705

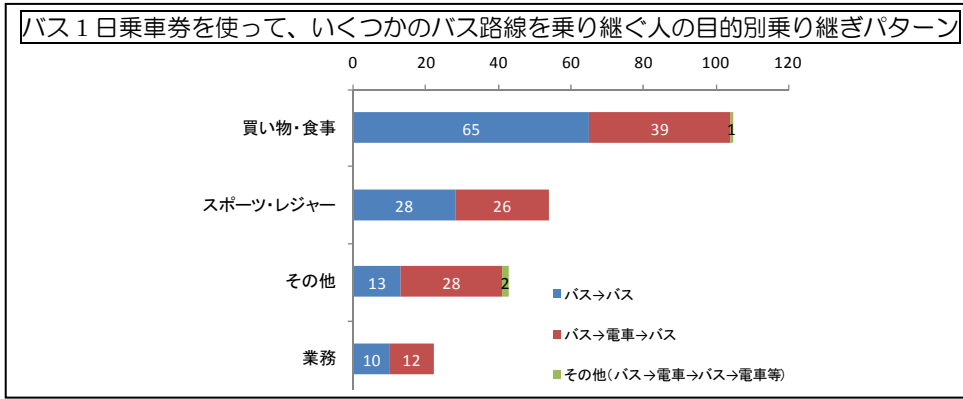


＜複数のバスの乗り継ぎ方法の主な特徴＞

- ◎ 乗り継ぎの経由地は、数多くのパターンがあるものの、そのうち、あざみ野駅、たまプラーザ駅が突出して多いとの結果になっています。
- ◎ 小田急線方面のご利用の方も一定数おり、その場合には新百合ヶ丘駅までのバスが運行しているあざみ野駅又は虹が丘営業所が主な経由地となっています。
- ◎ バスを乗り継いで港北ニュータウン方面へ行く方も多く、その際には主にたまプラーザ駅が経由地となっています。
- ◎ さらに横浜市内、小田急線方面だけでなく、東京方面へのご利用も一定数あり、その際には、主にあざみ野駅、たまプラーザ駅を経由の上、電車とバスを乗り継ぐご利用となっています。

【バス1日乗車券の利用目的】

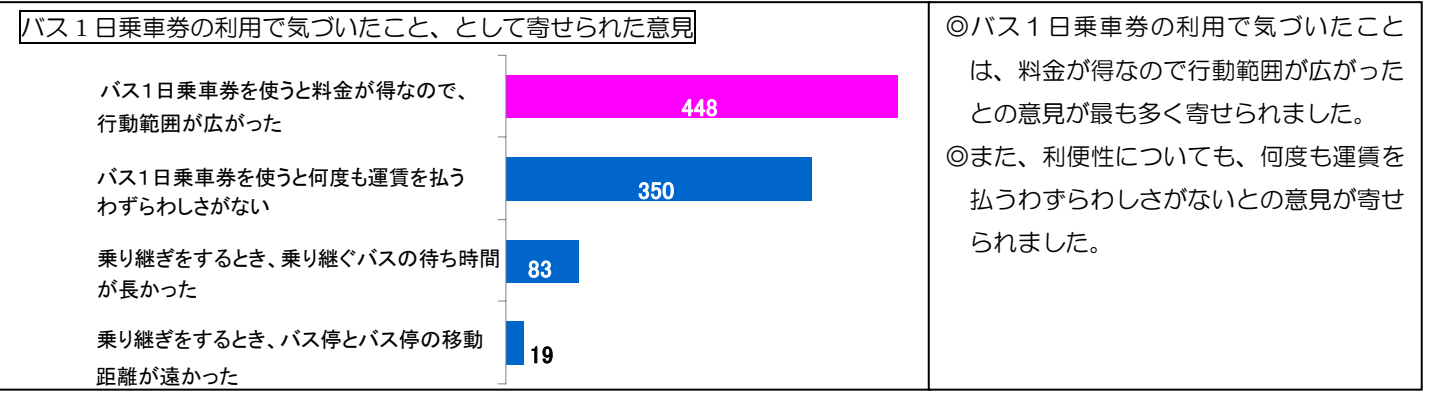
◆『青葉区、都筑区調査』及び『すすき野地区調査』 母数：224



◎バス1日乗車券の利用目的は、買物・食事が最も多くなっています。
 ◎乗り継ぎのパターンとしては、バスからバスに乗り継ぐ利用が最も多く、次いで、バスから電車さらにバスに乗り継ぐ利用が多い状況です。
 ◎このように、バス1日乗車券は、主にいくつかのバス路線を乗り継ぐために利用されている傾向です。

【バス1日乗車券の利用で気づいたこと】

◆『青葉区、都筑区調査』 母数：900

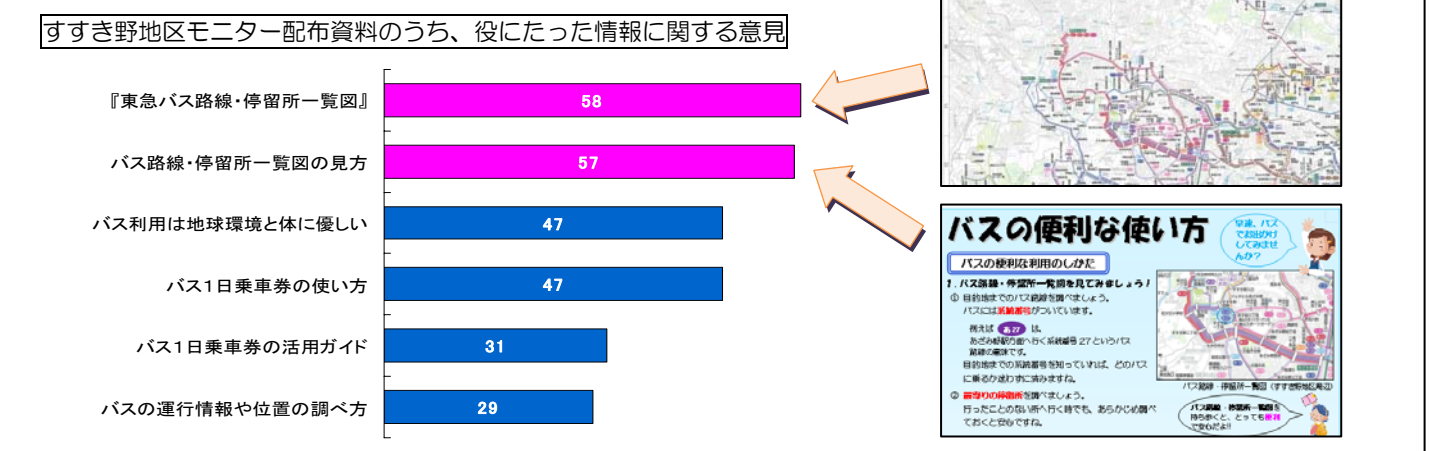


◎バス1日乗車券の利用で気づいたことは、料金が得なので行動範囲が広がったとの意見が最も多く寄せられました。
 ◎また、利便性についても、何度も運賃を払わずらわしくないとの意見が寄せられました。

【バス利用を促進するためのきっかけづくり】

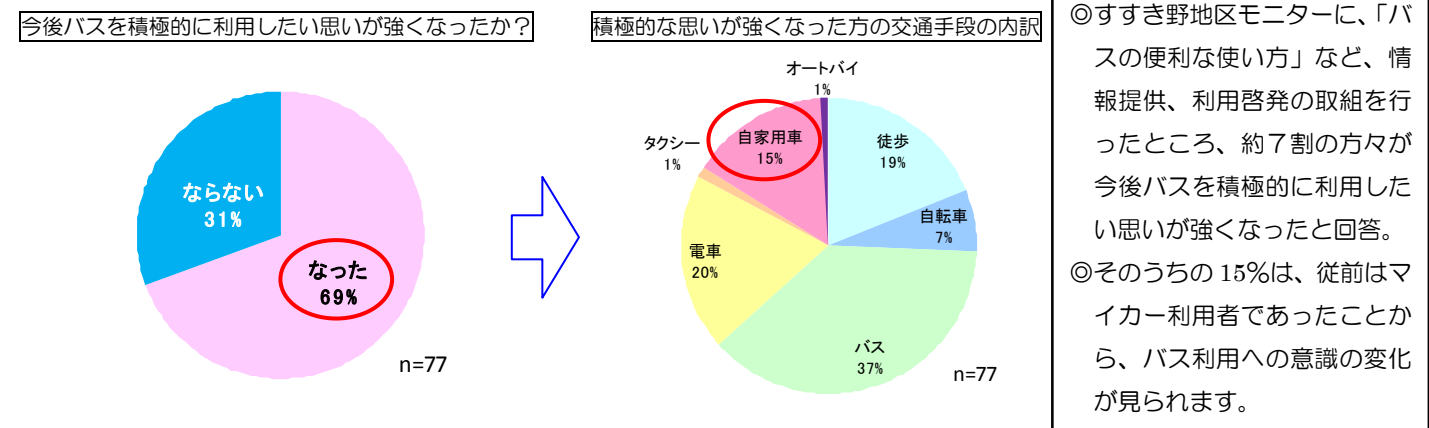
◆『すすき野地区モニター調査』 母数：269

- ◎すすき野地区モニターに対する配布資料のうち、役に立った情報は、「東急バス路線・停留所一覧図」、「バス路線・停留所一覧図の見方」との意見が多く寄せられました。
- ◎情報提供として役に立つ内容は、日頃、バスを利用する際に、必要な基本的な情報であることが伺えます。（自宅と目的地を結ぶバス路線や経路はどれであるか等）



【情報提供による意識や行動の変化の効果】

◆『すすき野地区モニター調査』 母数：77



◎すすき野地区モニターに、「バスの便利な使い方」など、情報提供、利用啓発の取組を行ったところ、約7割の方々が今後バスを積極的に利用したい思いが強くなったと回答。
 ◎そのうちの15%は、従前はマイカー利用者であったことから、バス利用への意識の変化が見られます。

【調査の結果】は裏面につづく